

KFCと尚絅学院大がつくる名取のメディア

創刊1周年記念号

ハナモモ通信

2016年 10月

【発行】河北新報普及センター
 【協力】尚絅学院大 河北仙阪
 【エリア】名取市内
 【部数】11,600部
 【電話】022(266)2991



祝！創刊1周年 学生記者が座談会 「魅力あるハナモモ通信を作っていこう」と誓う



「これからも頑張ります！」と意気込む学生記者の皆さん

●祝！創刊1周年

今月号で「ハナモモ通信」は創刊1周年を迎えます。仙台市青葉区の河北新報社本社で開いた座談会に、取材に携わってきた尚絅学院大の学生記者5人が集結。この1年を振り返るとともに、これからの「ハナモモ通信」について語り合いました。

●取材を振り返り

この1年間で、名取市内の様々な話題を取材してきた感想を、それぞれが振り返りました。河北新報普及センター販売所長へのインタビューや地元のお店紹介、そして希望と勇気を与える様々な復興支援イベントを取材してきました。同大3年の亀山智美さんは、「取材に協力していただいた名取の皆さんは、とにかく前向きで元気。みんなで名取をもっと良い街にしていこう、という一体感を感じた」と話しました。取材に訪れる度に新

たな発見に出会う他の学生記者たちも、この言葉にうなずいていました。

●素敵な街、名取

震災から5年半が経過して、名取も変貌を遂げている一方で、震災の記憶を後世に伝える取り組みも継続して行われています。

「新しい活動に取り組み方への取材や、新しく出来た素敵なお店の紹介はもちろんだけど、新たに名取に移り住んだ方々に、取材を通して被災地のメッセージを伝えることも私達の役目だ」と思うと学生記者たち。そして、これまでの取材を通して分かったことは、私達を含めたみんなが「名取が大好き」ということ。



名取の情報を紹介した「ハナモモ通信」の紙面



笑顔でこれからの「ハナモモ通信」について話し合いました

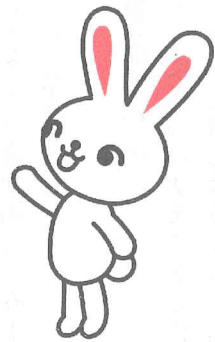
ていこう！」と最後に参加者全員で誓いました。

ほかにも「こんなスポットがあるよ」「こんな特集組んではどうだろう？」などのご意見をお寄せください。学生記者たちはこれからも積極的に地域とつながり、ハナモモ通信を通して素敵な街、名取を演出していきたいと思えます。

◆ ◆ ◆
 ●余談「ハナモモ通信のイメージキャラクターを作りたいね」なんて話題も出ました。もしかしたら近々ハナモモのゆるキャラ？が登場するかも？



学生記者による
 今後の抱負



◇青田汐里さん(2年)

名取の出来事を積極的に伝えていけるように頑張ります！

◇阿部杏圭さん(3年)

魅力あふれる名取を発見・発信していきます！

◇小山初音さん(3年)

名取を楽しく紹介できるように一杯頑張ります。

◇亀山智美さん(3年)

ハナモモ通信を通して名取をもっと知り、笑顔になるような話題を紙面にしたいと思います。

◇古積明奈さん(4年)

名取の新鮮な情報を楽しく発信したいと思えますので、よろしくお願いします。

◇澁谷胡桃さん(2年)

多くの人の力があってこそハナモモ通信。絶えずこたくなく続けていけるように頑張ります。

◇白鳥颯也さん(4年)

ハナモモ通信を通して、人と人とを繋ぎ、みなさんに新たな名取観を提供できたら嬉しいですね。



名取を jazz 思いを乗せた旋律

名取市をジャズで盛り上げる「2016名取ジャズフェスティバル(以下、なとジャズ)秋の部」のメインイベントと後夜祭が9月18日に開催されました。

「ビバップス」、「田口忠誠とコンパスジャズオーケストラ」、「ジャイブユニティジャズオーケストラ」、「スライドハンパモ

ン」、そしてスペシャルゲストの「守新治スペシャルバンド」という豪華なミュージシャンが今回も名取に集いました。

今回は、第1回から会場であった、ゆりあげ港朝市メイプル館前に加え、ゆりが丘公民館でも演奏が行われました。会場には、500人を超える人が訪れ椅子



ゆりが丘公民館で行われた守新治スペシャルバンドの演奏

やパンフレットが足りなくなる程の観客で満席でした。

ダイナミックで心躍るものから、暖かく思いやりが感じられるものまで様々な曲を味わうことができました。

ビクトリーカフェ名取店代表で名取ジャズフェスプロデューサー、かつジャズバンドに所属する今野勝則さん(64)は、3ヶ所(増田

防炎広場は雨天中止)で開催した理由について「これまで会場が1つだけだったので、なとジャズは一部の人だけで行われている雰囲気があります。今回、会場を山と街にも増やすことによって、名取全体で楽し



片倉加寿子ピアノトリオ+ジュディスの演奏

んでもらえるのではないかと考えました。実際に新たな会場でもたくさんのお客様に会場に来ていただき「次回も楽しみにしている」と言う声もいただいた。これ程嬉しいことはないですよ」と確かな手応えを感じたようでした。

午後8時からはビクトリーカフェ名取店で後夜祭が開催され、訪れたお客様は美味い料理とお酒を飲みながら「勝部彰太 Har d b a p s」、「片倉加寿子ピアノトリオ+ジュディス」の奏でる音楽に心酔している様子でした。

仙台を中心に県外でも活動しているピアノニスト片倉加寿子さん(68)は、「3・11のとき自宅が全壊した。自らも被災者であるからこそ、なとジャズでは祈るような思いで演奏している。本物のジャズを知っている方々が主催しているからこそ、いい音楽を提供できるイベントだと思えます」と意気揚々に話してくれました。



片倉加寿子さん

なとジャズは、これまで計5回開催され、回を追うごとに盛り上がりつつあります。

来年も、高い音楽の質を保ちつつ、新たな会場を設け、よりたくさんの方に一流のジャズを聴きに足を運んでもらえるようにする予定です。

ジャズの醍醐味は、その場で作られる即興の演奏です。皆さんも一期一会のジャズのメロディーに身も心も任せてはいかがでしょうか。(白鳥颯也)

読者から学生記者へ 応援メッセージ

●女性・60代
地域の為に学生さん達が奮闘されている様子伝わってきますよ。企画や記事集め今後も期待していますよ!

●女性・50代
地域の活動や情報等きめ細かく知ることが出来ます。紙面もきれいですね。

●男性・80代
地域の動き、また歴史を知ることによって、市民の皆さんは町に対する、親しみや、楽しさがより増えると思います。学生の皆さん本分である勉強を忘れず、そして取材としっかりと両立させ頑張ってください。そして市民の皆さんの動きをもっと知ることによって、高齢者も二度目の青春を心に抱くようになると思います。

●女性・50代
楽しみにしています。公民館はあまり利用しないのでわかりませんが、いろんな講座をやっているのですね!一度利用してみようかと思いました。

●女性・40代
月1に入るハナモモを心待ちにして読むようになりました。名取の知らなかったことなど、勉強にもなります。日々の学業も大変なのに取材・発行お疲れ様です&ありがとうございます。

●女性・30代
記事も身近な所が多く、興味深いです。子ども達も「安藤コマ名人だ〜!」と大喜びしていました。里山再生プロジェクトもいつか参加してみたいと考えています。今、尚絅学院大学の「いのちの教育」講座を受けていて、前回は9月10日に参加しましたが、素晴らしい内容であるのに、受講者が少なく、少し残念でした。もっとPRしたら、多くの人が集まると思います。

●男性・50代
毎号、名取の情報が盛りだくさん!楽しく読ませてもらっています。いろいろな場所に行かれて取材するとは大変なこと多いけど、新たな発見やまた記事になった喜びはとても大きいですよね。それにしても、プロ顔負けの文章力!すごいですね。今後みなさんのご活躍を期待しています!



(住所) 〒980-0002
022
仙台市青葉区五橋1-11-10 河北新報普及センター FAX 27-8333